

KTC クランクプーリー倍力レンチ AE-10 取扱説明書

KTC クランクプーリー倍力レンチをご購入頂きありがとうございます。この製品を末永く、安全にご使用していただくために、この取扱説明書をよくお読みいただいたうえ作業してください。

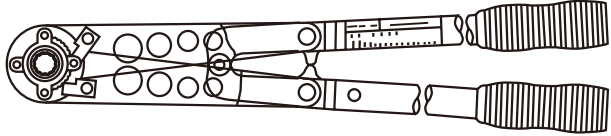


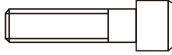
1. 適用

この製品はサービスタップ付き自動車用クランクプーリーロックボルトの取外し作業専用です。注意してご使用下さい。

但し、3000ccを超えるディーゼルエンジン、トヨタ 3F、1FZ 型エンジン、日産 VH 型、RB26DET 型エンジンには緩めトルクが過大なため使用できません。

2. 製品の名称と説明

開梱後、下記の製品が入っているか確認して下さい。

記号	イラスト	名称	品番	数量
A		本体	—	1
B		4角ドライブショート	AE-10-1	1
		4角ドライブロング	AE-10-2	1
C	 M8x1.25 首下長さ 30mm	セットボルト	—	2

(A) 本体

・ダブルレバース機構（てこの一種）とラチェット機構の組み合わせによって、①ハンドルを開閉操作すると④本体12角口径部に挿入された（B）4角ドライブ、ソケットレンチを駆動します。

・⑤本体耳部がクランクプーリーホールドプレートに接続され、回転反力を受け止めます。

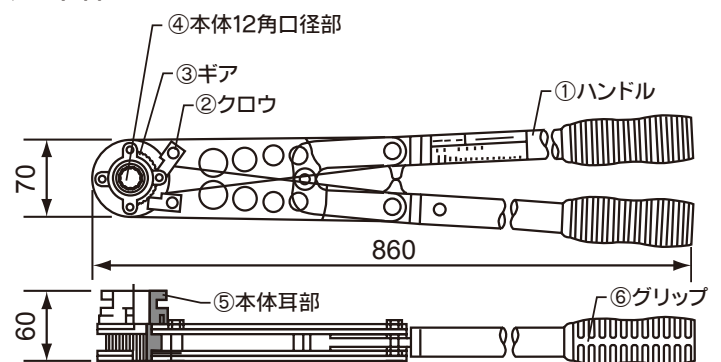
(B) 4角ドライブ

・ソケットレンチを装着し④本体12角口径部に挿入され、③ギアの回転力をクランクプーリーロックボルトに伝達します。
・作業空間に応じて④本体12角口径部内をスライドします。
・サイズはショート、ロングがあり、各1個ずつ入組まれています。

(C) セットボルト

・クランクプーリーホールドプレートをトヨタ7M-GE型エンジンに装着する場合に使用します。

(A) 本体



3. 強さ

最大 50kgf・m (490N・m) 以内で使用してください。

準備するもの

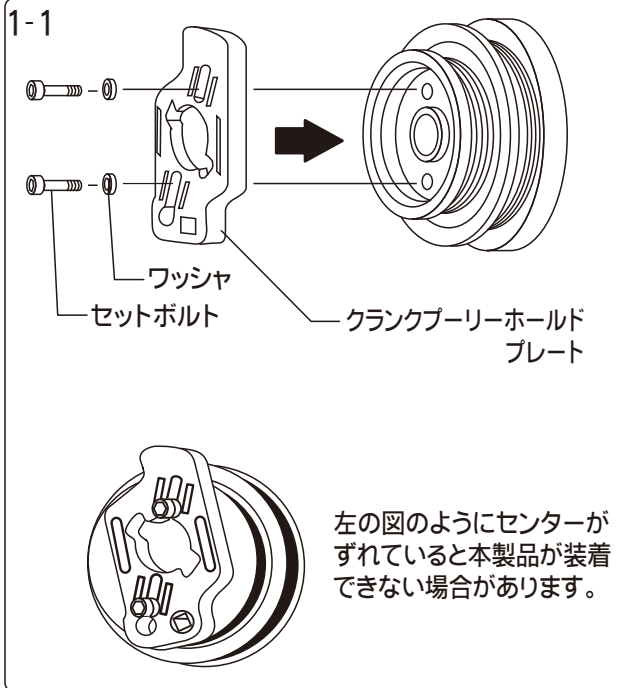
- ・ **KTC** クランクプーリーホルドプレート No.CPH1
 - ・ ドライブ角 12.7sq. (1/2) スピナハンドル等
 - ・ 六角レンチ
 - ・ ドライブ角 12.7sq. (1/2) ソケットレンチ
 - ・ ハンドツール類
- ・ ・ ・ クランクプーリーツール (No.CPHU2) 入組されています。
 - ・ ・ ・ クランクプーリーホルドプレートの回転位置調整だけに使用します。
 - ・ ・ ・ セットボルトM8 用は6mm、M6 用は5mm。
 - ・ ・ ・ JIS 規格品で作業する車種に適合するサイズのもの。
(**KTC** 製 12 角ソケットレンチを推奨いたします。)
 - ・ ・ ・ 作業前に、ファンベルト (V ベルト、V リブドベルト)、クーリングファン (含フリードカップリング)、ファンシュラウド等の取り外しに使用します。

事前作業

作業の障害になるファンベルト (V ベルト、V リブドベルト)、クーリングファン (含フリードカップリング)、ファンシュラウド等を取り外します。

(注) ラジエーターホースが障害になる場合があります。お手数ですが冷却水を抜いてラジエーターホースを外して作業してください。

1. クランクプーリーホルドプレートの装着

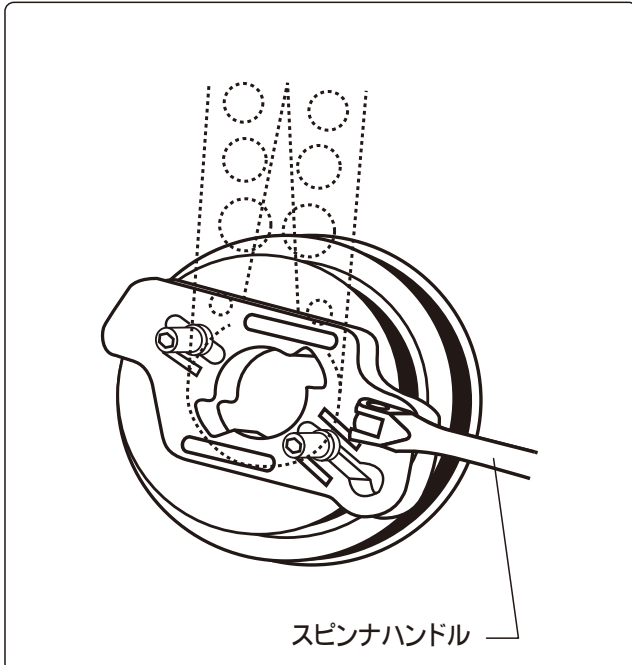


- 1-1 クランクプーリーホルドプレートの厚みを考慮し、クランクプーリーに適切なセットボルトとワッシャを選択します。
- 1-2 クランクプーリーにクランクプーリーホルドプレートをセットボルトで取り付けます。(破損防止のためワッシャは必ず装着して下さい。)
- 1-3 サービススタップのサイズが M10 の場合には M10 アダプターをクランクプーリーに装着して下さい。

※チェックポイント

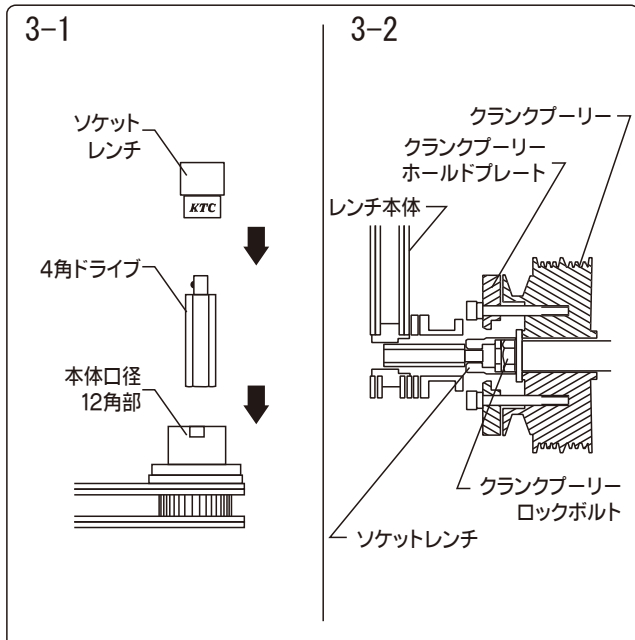
クランクプーリーホルドプレート No.CPH1 (No.CPHU2) の取扱説明書の指示に従い、正しくクランクプーリーとクランクプーリーホルドプレートのセンターを合わせ装着して下さい。

2. クランクプーリーホルドプレートの (クランクシャフト) 回転位置調整



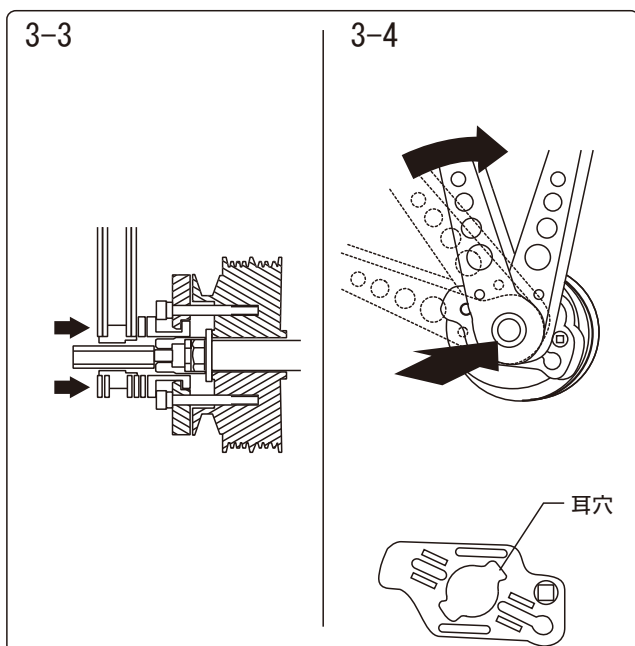
- 2-1 クランクプーリーホルドプレートにスピナハンドル等を装着します。
- 2-2 クランクプーリー倍力レンチをクランクプーリーホルドプレートに装着したとき、クランクプーリー倍力レンチが真上になる角度まで、装着したスピナハンドル等を使い回転させます。
- 2-3 位置調整後は必ずクランクプーリーホルドプレートからスピナハンドル等を取り外して下さい。
回転反力は倍力レンチとクランクプーリーホルドプレートの間で受けるので、スピナハンドル等で回転反力を受ける必要はありません。

3. クランクプーリー倍力レンチの装着



3-1 作業する車種に適合するソケットレンチと4角ドライブを
本体12角部に装着します。

3-2 ソケットレンチをクランクプーリーロックボルトに装着します。



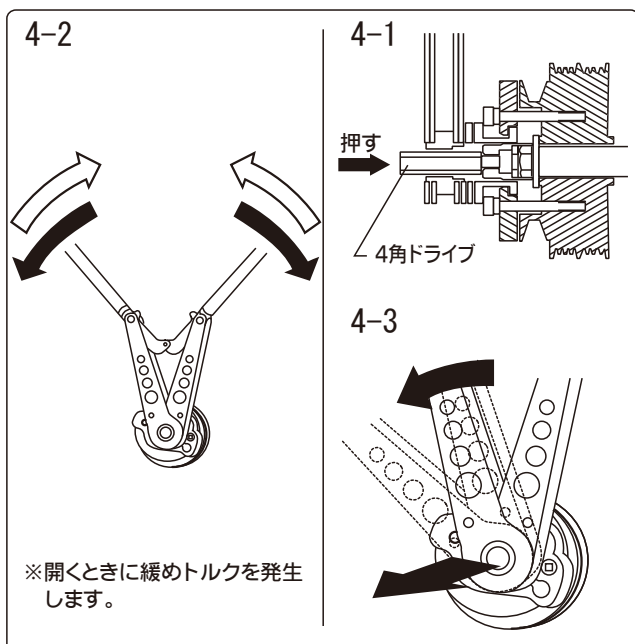
3-3 本製品の本体耳部をクランクプーリーホールドプレートの耳穴
にはめ込み、右に止まるまで回転させて装着します。

3-4 本体耳部がクランクプーリーホールドプレート耳穴よりも左側に
回転した位置で、まずソケットレンチをクランクプーリーロック
ボルトに装着し、ラチェット機構を活用して本体耳部がクラン
クプーリーホールドプレート耳穴に入る位置まで本体を右回転
させると装着が容易です。

※アドバイス

クランクプーリーの上部からの作業が困難な場合は、アンダーパ
ネルを外し、下から作業することも可能です。この場合は落下物
に対して十分注意して作業してください。

4. ハンドルを操作してロックボルトを緩める



4-1 4角ドライブを押してソケットレンチにクランクプーリーロック
ボルトが底当たりしていることを確認して下さい。

4-2 ハンドルのグリップを両手でしっかり握って数回開閉操作を
行うと、開くときに緩めトルクが発生してクランクプーリーロック
ボルトが緩みます。

4-3 手でクランクプーリーロックボルトを回せるまで緩めると本体は
左に回転可能となり、クランクプーリーホールドプレートから
取外せます。

取扱注意事項

○ご使用前に・・・

- ・取扱説明書をよく読んでからご使用下さい。
- ・本製品は自動車のクランクプーリーロックボルト取外し作業専用です。他の用途には使用しないで下さい。
- ・本製品を改造して使用しないで下さい。
- ・ファンシェラウド、クーリングファン等を取外し、作業空間を確保して下さい。
- ・クランクプーリーホールドプレートを取扱説明書に従い正しく、確実にクランクプーリーに装着して下さい。
- ・ギア外周部には大きな力が働きます。グリースが塗布されていることを確認し必要に応じてリチウムグリースを塗布して下さい。

○危険防止のために・・・

- ・両手でグリップをしっかり握ってご使用下さい。
- ・パイプ等を継ぎ足して過大な力を加えないで下さい。
- ・本体のプレートの間に指や手、物等を挟まないで下さい。
- ・ご使用時にはギア、クローに触れないで下さい。
- ・ハンドル開閉作業時（特に開く時）には、車体に手を打ち付けたり、ハンドルで車体、部品を破損しないように注意して下さい。
- ・ドライブ角 12.7sq.（1/2 インチ）の **KTC** 製ソケットレンチの使用を前提に設計しております。他社製ソケットレンチを使用されますと、本製品を使用できない場合がありますので、**KTC** 製ソケットレンチのご使用を推奨いたします。
- ・ソケットレンチはドライブ角のボールがソケットレンチのボール溝に入るまで確実に装着して下さい。
- ・ソケットレンチが確実にクランクプーリーロックボルト六角部にかかるように装着して下さい。（クランクプーリーロックボルト六角部が、ソケットレンチに最も入っている（底当たりしている）かを、4角ドライブをクランクプーリー側に押し込み確認して下さい。）

○破損防止のために・・・

- ・水分、薬品、鉄粉、砂塵等を付着させないで下さい。
- ・踏みつけたり、上に物を置かないで下さい。
- ・分解しないで下さい。
- ・落下させたり、衝撃を加えないで下さい。
- ・正しく装着、使用してください。
- ・ラジエター、クーラーコンデンサー等に接触しないよう、注意しながら装着して下さい。
- ・コジらないよう注意してご使用下さい。

製造国：日本国 販売者の名称・所在地：京都機械工具株式会社 〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地128番地

本製品の問い合わせは、お客様窓口又は最寄りの下記営業所までお寄せ下さい。

お客様窓口(ものづくり/お客様センター)
受付時間：9:00～12:00/13:00～17:00
(土・日・弊社休業日除く)
TEL:0774-46-4159
FAX:0774-46-4359
Email/support@kyototool.co.jp
URL <http://www.kyototool.co.jp/>

支店 TEL/東京 03(3752)2261/名古屋 052(882)6671/近畿 0774(46)3711
営業所 TEL/札幌 011(824)0765/仙台 022(231)6322/金沢 076(291)4546/広島 082(273)0202
/四国 087(869)4474/福岡 092(441)5637

※仕様及び外観は改良の為予告なく変更することがあります。